

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年5月15日
【四半期会計期間】	第41期第1四半期（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）
【会社名】	クリエートメディック株式会社
【英訳名】	CREATE MEDIC CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 正浩
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理統括部長 橋井 敦
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理統括部長 橋井 敦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第1四半期連結 累計期間	第41期 第1四半期連結 累計期間	第40期
会計期間	自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日	自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高 (千円)	2,027,656	2,015,101	9,880,617
経常利益又は経常損失 () (千円)	79,548	14,413	953,073
四半期(当期)純利益 (千円)	68,743	38,548	533,628
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	359,036	118,438	1,221,215
純資産額 (千円)	11,653,466	12,060,402	12,361,568
総資産額 (千円)	16,999,904	16,643,064	17,443,761
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	7.15	4.01	55.49
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.6	72.5	70.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の増加や企業業績の改善など景気の回復基調が続いております。

当医療機器業界におきましては、4月に引き下げられる公定価格や市場での価格競争の進行など業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは国内販売力強化のために、営業部門を統合して指揮命令系統を集約いたしました。また、販売網の見直しを行い、新たに3カ所の営業拠点を4月に設置・移転いたしました。これらの施策によって、営業力の底上げを図ってまいります。

また、中国市場においては関連する学会への出展やドクターによる学術発表を実施するとともに、新たに7カ所の代理店を設置いたしました。

一方、利益面については、引き続き海外工場での部資材内製化などにより原価上昇を抑えるとともに、販売管理費の抑制にも努めてまいりました。

次に売上の概況を販売形態別にご報告いたします。

< 自社販売 >

自社販売では泌尿器系製品や外科系製品を中心に数量は増加いたしました。売価下落の影響により1,315百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

製品系統別の要因は次の通りとなります。

泌尿器系製品は、キットを含むフォーリーカテーテル、採尿バッグ、膀胱瘻など全般的に数量、金額が増加いたしました。

消化器系製品は、イレウスチューブが売価下落、数量減少の影響を受けるとともに、胃瘻関連製品も市場競争により数量減少となりました。

外科系製品は、内視鏡下手術関連製品、気管切開チューブが順調に増加いたしました。

血管系製品では、マイクロカテーテルは増加しましたが、一部の血管造影カテーテルの販売中止の影響で減少いたしました。

看護・検査系他製品は、組織採取用の製品は増加しましたが、注腸検査用のチューブやドレープ系製品が減少いたしました。

< OEM販売 >

OEM販売では主に血管造影関連製品の受注のずれ込みにより334百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

< 海外販売等 >

海外販売等ですが、欧州では主にフォーリーカテーテルや胃瘻カテーテルが増加しました。一方、中国での販売はフォーリーカテーテルを中心とする泌尿器系製品が大きく伸びました。その結果、海外販売等の売上は365百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の製品系統別の売上高は、次の通りです。

泌尿器系製品の合計は、	630百万円（前年同期比12.3%増）となりました。
消化器系製品の合計は、	633百万円（前年同期比3.1%減）となりました。
外科系製品の合計は、	250百万円（前年同期比3.7%増）となりました。
血管系製品の合計は、	301百万円（前年同期比21.3%減）となりました。
看護・検査系他製品の合計は、	199百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

一方、利益につきましては、海外販売の増加や販売管理費の抑制はありましたが、自社販売での売価下落や、OEM販売の減少の影響を受け、大きく減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,015百万円（前年同期比0.6%減）、売上総利益834百万円（前年同期比12.6%減）、営業損失9百万円（前年同期は営業利益76百万円）、経常損失14百万円（前年同期は経常利益79百万円）、四半期純利益38百万円（前年同期比43.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して800百万円減少し16,643百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少515百万円、有価証券の減少99百万円、商品及び製品の減少65百万円、投資有価証券の減少123百万円が主な要因です。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して499百万円減少し4,582百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少58百万円、短期借入金の減少145百万円、未払法人税等の減少196百万円、長期借入金の減少68百万円が主な要因です。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して301百万円減少し12,060百万円となりました。これは、利益剰余金の減少144百万円、為替換算調整勘定の減少141百万円が主な要因です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、58百万円となっております。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年5月15日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	9,664,327	9,664,327	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,664,327	9,664,327	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年1月1日～ 平成26年3月31日	-	9,664,327	-	1,461,735	-	1,486,022

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 47,900	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,606,200	96,062	同上
単元未満株式	普通株式 10,227	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,664,327	-	-
総株主の議決権	-	96,062	-

(注)「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式51株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
クリエートメディック株式会社	横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号	47,900	-	47,900	0.50
計	-	47,900	-	47,900	0.50

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,420,350	3,431,146
受取手形及び売掛金	3,415,711	2,900,404
電子記録債権	59,460	82,368
有価証券	400,012	300,047
商品及び製品	1,661,945	1,595,963
仕掛品	539,531	575,029
原材料及び貯蔵品	639,107	596,966
繰延税金資産	122,836	166,969
その他	117,586	142,142
貸倒引当金	1,000	1,000
流動資産合計	10,375,541	9,790,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,276,501	2,190,312
機械装置及び運搬具(純額)	796,133	756,758
土地	2,022,313	2,022,313
リース資産(純額)	22,233	18,124
建設仮勘定	16,231	5,526
その他(純額)	163,954	155,489
有形固定資産合計	5,297,368	5,148,524
無形固定資産		
借地権	177,331	170,205
その他	25,106	23,514
無形固定資産合計	202,437	193,719
投資その他の資産		
投資有価証券	1,107,438	983,972
繰延税金資産	376,370	438,498
その他	84,605	88,310
投資その他の資産合計	1,568,413	1,510,781
固定資産合計	7,068,219	6,853,025
資産合計	17,443,761	16,643,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	699,044	640,391
短期借入金	1,045,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	210,780	205,840
リース債務	17,052	17,185
未払法人税等	241,030	44,234
賞与引当金	25,803	110,903
役員賞与引当金	12,900	3,447
その他	576,336	500,821
流動負債合計	2,827,948	2,422,824
固定負債		
長期借入金	937,730	868,980
リース債務	6,292	1,845
退職給付引当金	1,095,791	1,108,794
役員退職慰労引当金	202,207	167,977
資産除去債務	3,047	3,064
長期末払金	9,175	9,175
固定負債合計	2,254,244	2,159,837
負債合計	5,082,193	4,582,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,733,673	8,589,510
自己株式	34,677	34,693
株主資本合計	11,646,753	11,502,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,421	47,203
為替換算調整勘定	652,393	510,623
その他の包括利益累計額合計	714,814	557,827
純資産合計	12,361,568	12,060,402
負債純資産合計	17,443,761	16,643,064

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	2,027,656	2,015,101
売上原価	1,073,076	1,180,715
売上総利益	954,579	834,386
販売費及び一般管理費	878,491	844,290
営業利益又は営業損失()	76,088	9,904
営業外収益		
受取利息	2,350	2,334
為替差益	2	-
保険配当金	1,783	1,854
その他	3,771	6,096
営業外収益合計	7,907	10,285
営業外費用		
支払利息	3,796	3,331
為替差損	-	10,125
その他	651	1,337
営業外費用合計	4,447	14,794
経常利益又は経常損失()	79,548	14,413
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	79,548	14,413
法人税、住民税及び事業税	48,674	45,162
法人税等調整額	37,869	98,124
法人税等合計	10,804	52,962
少数株主損益調整前四半期純利益	68,743	38,548
四半期純利益	68,743	38,548

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	68,743	38,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,488	15,217
為替換算調整勘定	256,803	141,770
その他の包括利益合計	290,292	156,987
四半期包括利益	359,036	118,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,036	118,438
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
受取手形	97,418千円	
支払手形	149,673	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
減価償却費	66,104千円	80,083千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	173,100	18	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月28日 定時株主総会	普通株式	182,711	19	平成25年12月31日	平成26年3月31日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額19円には記念配当1円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

当社グループはディスプレイカテゴリー・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	7円15銭	4円01銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	68,743	38,548
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	68,743	38,548
普通株式の期中平均株式数 (株)	9,616,681	9,616,367

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年5月15日

クリエートメディック株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三浦 洋輔 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエートメディック株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエートメディック株式会社及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。